

事業の基礎情報

実施主体	宝塚市
事業実施地域	宝塚市
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	交通・商業・娯楽
共創パートナー	阪急バス株式会社、ネクスト・モビリティ株式会社、生活協同組合コープこうべ第1地区本部、 有限会社宝塚シネマ
運行形態	A I オンデマンド交通
運行主体	阪急バス株式会社

取組の概要

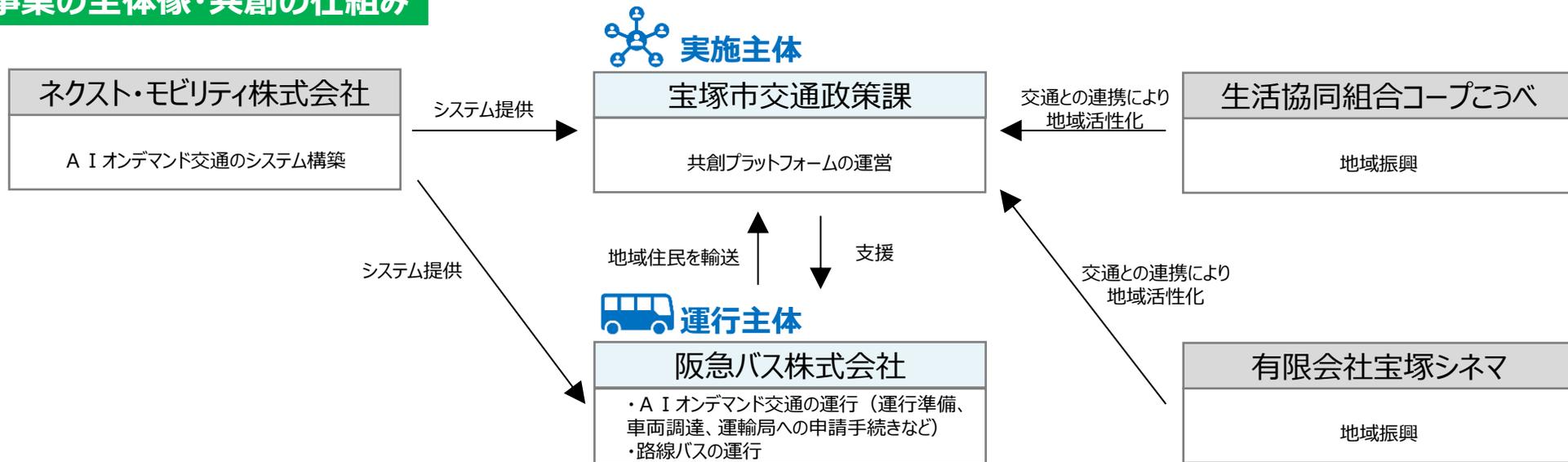
(現状の地域課題と事業目的)

宝塚市売布地域は山手住宅地域に位置しており、平成14年より路線バスの運行を開始し、地域住民にとって必要不可欠な公共交通である。今般、公共交通の維持や利便性の向上、地域活性化を図ることを目的に近隣施設と連携を図りながら暮らしと一体となった「くらし」の交通を目指す。

(事業の概要)

高齢化の進展や免許返納者の増加により公共交通の必要性は増大しており、路線バスによる運行から既存車両よりも小型化したA I オンデマンド交通への切替により、地域住民の公共交通の利便性向上や運行エリアの拡大で、より多くの交通弱者を救う。また、駅周辺の施設との連携で活動目的をつくることで、高齢者等の社会参加を促し、地域の賑わい作りや活性化を図る。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

地域住民の生活交通の維持確保を目的に近隣商業施設等と連携を図り、地域住民の「くらし」に寄り添うサービスを一体的に提供することで、公共交通の利便性の向上、及び外出機会を増やし、公共交通利用者数の増加と地域活性化に寄与する。

（実証事業により見込まれる効果）

利用しやすい公共交通サービスの提供により、地域住民の外出機会の創出を図り、商業施設来訪者の増加が見込まれる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

		令和6年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市	実証実験									→	実証実験		
	分析・検証・次年度方向性										→		分析・検証
阪急バス	運転手教習								→	車両準備	→	運転手教習	
	リース車両準備								→	車両準備			
	車載器の確保									→	車載器の確保		
システム会社	システム設計 (要件定義)				→	システム設計							
	システム構築								→	システム構築			
	住民利用説明会										→	住民利用説明会	
	乗降拠点の設置									→	乗降拠点の設置		
	完了報告											→	完了報告

(補助事業実施後の予定)

地域、事業者、市の3者による会議を継続して行い、公共交通のあり方を検討する。

令和6年度 11月中旬～12月中旬にかけて、既存路線バスを運行しながら約1か月間の実証運行

令和7年度 既存路線バスを休止し、約3か月間の実証運行

令和8年度 既存路線バスを廃止し、A・I オンデマンド交通の本格運行を開始